

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容により部屋を分けて行っている クールダウン時の場所の確保を検討していきたい
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置数は適切である
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現時点で バリアフリーを必要とする児童はいないが 怪我などの不都合な状態にあった時には工夫が必要
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日の職員ミーティングの他 月2回のミーティングを実施。課題の検討をし支援内容を統一している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施し業務改善に努める
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPIにて公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		必要に応じて検討していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回の研修 資質向上の為に職員にアンケートを取り研修を開催している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			6か月に一度面談を行い 分析し計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントを使用し状況把握を行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者ごとにプログラムを立案した内容について話し合いを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			料理 運動 制作など固定化はしないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			提供時間に応じてスケジューリングをし支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			状況やニーズに応じて作成して居る。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に内容等の話し合いを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			気付いた点や利用者の状況など共有をしている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援内容や状況を毎日記録しミーティングにて検証するようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に一度は必ずモニタリングを実施し支援計画内容が適切か検討している。必要があれば短期間の見直しを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		職員で状況に合わせた組み合わせを話し合い支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者又は指導員が共に参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時の申し送りや連絡帳により情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在は、医療ケアが必要な子どもは居ないが、主治医等との連絡体制は整えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援員を通して情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要な児童は情報提供を行った。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修等は積極的に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		児童館との交流はないが 地域の子供達との交流を行った。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	積極的に参加して行きたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や電話等により情報共有を行い状況や課題について共通理解を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	個々に必要に応じて行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		重要事項説明書にて契約時に説明し理解を求めている。契約時、内容変更時には必ず直接説明を行う。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談には丁寧に対応を心がけ助言を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会は実施できていないが、イベントなどを通して保護者同士の連携を図った。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			書面に残し全体への周知後対方法を話し合い対応を行っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			新聞として会報を発信、行事予定も通知している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			書類は鍵付きの書庫にて保管 個人情報保護についての契約書を交わしている。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者とは意思疎通の為のツールを使用保護者とは連絡帳や電話対応にて伝達を実施している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			ハロウィンや避難訓練など地域の人との交流を行っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			重要事項説明書に記載し説明を行っている マニュアルに添った研修会を開催している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災計画に基づき年2回の避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し年1回以上の研修を開催。また虐待防止の為の体制を構築している。虐待があった場合は速やかに対策解決へと行動する。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束廃止委員会の設置。重要事項説明書に記載あり。契約時に説明している。やむを得ず身体拘束の必要時は規定内容に添っているかを確認し、計画に基づき実施する。マニュアルにより職員は研修を最低年1回以上実施している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーとなる食物を確認し個別に除去している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			発生状況対応等を記入し作成 全体への情報共有を行っている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。